

# 市事務事業の外部評価結果

～市外部評価委員会～

学識経験者と市民公募者で構成する市外部評価委員会（委員 8 人）は、行政経営システムの中で取り組みを行っている事務事業のうち 21 の重点施策などを評価し、令和 3 年 12 月 9 日、市長に評価結果を報告しました。

評価に当たっては、全 6 回の委員会を開催し、担当課へのヒアリングや現地視察などを行い、各事務事業の取り組み状況の検証を行いました。

市は、この評価結果を今後の事務事業の改革・改善に反映していきます。

※行政経営システムとは、市のサービスや事務事業を継続的に改善する取り組みです。



## 【総評】

▽相馬に在住している市民が年齢、性別障がいの有無、国籍を超えて多様性を持つて共生社会を意識して、市が実施するさまざまな施策の意義や問題点を共有しながら、より多くの市民が参画・実行することで、伝統ある地域を後世に残していけるよう計画立案してください。

▽相馬市の将来において、観光産業の発展は不可欠なものと考えます。既存の環境や施設を大いに活用し、観光客のリピーターを増やすためにニーズの把握や新たな食文化の開拓、そして体験型の観光メニューの開発に取り組み、関係各種団体との連携を図り、SNSや広報を通じた積極的な情報発信をして交流人口の拡大を図ってください。

▽近年、大雨や地震などの自然災害への備えが自治体のみならず、市民生活においても注視されています。そこで、防災意識の向上や災害への備えの重要性が高まっているので、市民への平常時における避難訓練や避難経路の点検など、日常生活に密着した形での啓発と自主防災組織の構築・連携を含めた防災体制の強化に努めてください。

▽市で取り組んでいる「預かり保育」や「放課後児童クラブ」といった支援は充足しつつあるものの、妊娠前から高校卒業までの切れ目のない子育て期間を対象とした経済的な支援の充実や児童、生徒の豊かな心の育成と学力向上のための取り組みをお願いします。

## 【評価結果】

▽21 の事務事業について「A」「B」「C」「D」の 4 段階評価を行った結果は、右の表のとおりです。

▽評価点数は、8 人の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などを 5 点満点で評価したものの平均です。

評価	事業数
A= 必要かつ有効であり推進することが妥当	20
B= 改善を図りながら継続することが妥当	1
C= 一部修正・再検討が必要	0
D= 見直し・休止・廃止について検討が必要	0
合計	21

## ●事務事業ごとの評価

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	行政のデジタル化の推進	4.1	A	作業の効率化には、行政のデジタル化は必要不可欠なことです。一方で、情報の漏えいに対するシステムの強化、トラブル時のバックアップ、リカバリー対策・体制も運用当初から整えておくようにしておくとともに、窓口などの行政手続きをデジタル化する場合は、市民が安心して手軽に利用できるよう安全性や利便性について、説明や周知を十分に行ってください。
2	自主防災組織の訓練等の支援	4.3	A	災害発生時に混乱しないよう、平常時に訓練を数多く行うことが重要です。また、他地区の活動が活発な自主防災組織の活動や組織の運営の仕方などを共有することで、市内の自主防災組織全体が活発になることも考えられます。助成金以外の防災訓練などへの支援について、市が積極的に関与しながら、防災体制の強化に努めてください。
3	子育て支援活動	4.3	A	妊娠期から学童期に至るまでの子育て支援が手厚くなると相馬への移住・定住が増加すると思われますので、より丁寧なきめ細やかな支援活動に取り組むとともに、子育て世代が孤立化してしまわないよう、支援策が目に見えるように積極的な情報発信に努めてください。
4	各校の道徳教育の充実への支援・相馬フォロアーチームと連携した心のケア・メンタルヘルスサポート事業	4.3	A	SNS などによる目に見えないいじめやそれに伴う不登校・自殺を防ぐために道徳教育は不可欠であり、そのための専門職員の派遣などの支援の充実を願います。また、メンタルヘルスサポートは年間の利用可能枠が限度に達しているため、利用実績を検証し、枠を増やす検討なども行ってください。

# 市事務事業の外部評価結果～市外部評価委員会～

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
5	学校給食を通じた食育の推進・給食調理員研修会の開催・市内全小中学校の給食の無料化	4.5	A	児童・生徒への豊かな食の提供は将来の相馬の力になると思いますので、食育のもつ大きな意義を考え、推進してください。また、更なる積極的な相馬産品の利用を期待します。
6	校庭の遊具の点検と計画的な更新・維持管理	4.6	A	定期的な点検は継続しつつ、壊れてからの改修ではなく、経過年数などによる計画的な更新を検討し、新しい遊具の配置については学校の要望も勘案し、楽しめる遊具の導入なども視野に入れながら進めるよう願います。
7	円滑な農業委員活動のサポート	4.0	A	農業後継者不足の中、農地をどう守っていくか、課題は大きいことを踏まえ、農業委員に対する情報提供や研修などのサポートにとどまらず、関係部署、機関と協力しながら、農業振興や農地利用最適化に向け、農業従事者や新規就農希望者に的確な情報発信と就農希望者の勧誘に努めてください。
8	企業誘致の推進（企業への情報発信と支援）	4.1	A	企業誘致の推進は、地域経済の活性化や雇用創出につながるため、必要な事業です。市の魅力リサーチなどを実施し、「誘致企業にとっての魅力が何か」をはっきりつかみ、相馬としてのアドバンテージのあるものをきちんと定めて誘致活動を推進してください。
9	相馬港の利用促進	3.9	B	「企業が相馬港を利用したいと思うには何をしたら良いか」を調査するとともに、企業誘致と併せた利用促進に努めてください。また、5年後、10年後には相馬港に対する企業ニーズも様変わりすることも考えられるため、新たな産業への港湾利用も視野に入れて推進することを願います。
10	観光産業の振興	4.2	A	観光産業の発展は、市の将来にとって非常に重要となります。全ての観光資源を活用し、ターゲットとする観光客のニーズに応じた観光メニューを準備するとともに、あらゆる情報を提供してリピーターを増やすことに努めてください。
11	公民館活動の推進（特別企画講座の開催）	4.6	A	年ごとに強弱をつけながらも、地域住民が年齢を問わず参加できるようなイベントや講座の企画を継続的に提案しながら、公民館活動を通して住民が交流できる場の提供に努めてください。
12	図書館の環境整備と図書の実践	4.1	A	デジタル化が進む中、図書館においても少しでも早く対応することで、充実した魅力ある図書環境となるよう努め、市民の知の拠点となるよう取り組んでください。また、絵本の読み聞かせ会は、良い取り組みですので、図書館だけでなく、愛育園や公民館なども連携し、数多く開催できるよう期待します。
13	既存スポーツ施設の利活用促進	4.6	A	施設管理をしているNPO法人などとの連携などを密にし、窓口での接遇向上を図るとともに、きめ細やかな情報発信に努め、利用団体の増加に努めてください。また、子どもたちを含めた多くの市民の方々にスポーツ施設を通じたレベルの高いプレーを見る機会などを与えることは事業として有益と考えますので、各種大会などの誘致活動の強化を願います。
14	市民活動による交通事故対策	4.4	A	交通事故も災害と捉え、防災という観点から各行政区の特質に合致した対策を考え、関係機関との連携を密に行った事業推進を願います。また、地域ボランティア団体との協働による活動は有効だと考えますが、活動が散発的になることも懸念されるため、市が主導した継続的な活動の展開を期待します。
15	個人積算線量計による外部被ばく検査	4.5	A	得られたデータが記録として残ることは、安心安全の材料につながることから積極的に対外アピールをすべきと考えます。また、長期間の事業になることも考慮した上で、今後どのように継続して、いつまでやるのかといった出口戦略も検討を行いながら事業の推進を願います。
16	学校敷地内の線量モニタリング調査と公表・学校給食の放射性物質測定と公表	4.6	A	学校における放射線被害をなくすための活動として良い事業だと考えます。また、原発事故から10年が過ぎたことも踏まえ、今後は今までの蓄積したデータを分析し、その結果を示しながら、出口をどこに据えるかの検討を行いながら事業の推進を願います。
17	生活習慣病予防のための啓発活動、生活習慣病予防・対策の推進 保健協力員等による地域活動の推進	4.3	A	生活習慣病は、健康寿命に影響を及ぼすだけでなく、地域医療や経済にもマイナス効果を波及させると考えます。公民館活動や各種行事などを利用して情報発信をすることにより啓蒙活動を充実させ、また独居老人への対策も保健協力員に協力を仰ぎながら、事業を推進してください。
18	災害公営住宅団地独居高齢者等見守り	4.6	A	高齢者にとって孤独な環境とならないことが、精神疾患や肉体的疾患の予防にもつながると考えます。そのために定期的な見守りは不可欠で、高齢化社会において全ての地域で公営住宅に限らず、一般住宅も対象とした独居高齢者の見守りが必要となってくることも視野に入れた事業継続を願います。
19	在宅障がい福祉施策の充実・精神障がい者地域定着の充実	4.3	A	あらゆる障がいを持つ方々が充実した日常生活を送るために、市民の意識の変容や生活支援センター、相談センターの整備と連携が必要と考えます。地域で支えることを基本として、障がい者と健常者の意識の変化を促すような双方の橋渡しとなる事業展開を期待します。
20	公園遊具の維持・管理	4.6	A	事故は想定していないような行動によって発生することが多々あります。それらを防ぐためにも、国のマニュアルだけではなく、多くの人の意見を聞いて対策することを検討していただきながら取り組むことを期待します。
21	新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン集団接種）	4.9	A	相馬モデルと呼ばれる集団接種体制を作った自治体と医師会の協力体制は、称賛されるべきもので、全国に先駆け一早く行った高校生・中学生の接種体制も同調圧力を勘案したものとなっており、他自治体の参考になるものと考えます。また、ワクチン接種率も90%を超え高水準であることは、市民の新型コロナウイルス感染症対策に対する意識の向上にも大きく影響を与えたものと考えます。併せて、3回目接種を実施する場合においても、1回目接種、2回目接種と同様、市民が安心して接種できる体制の構築と実施を望みます。

## 外部評価委員からひとこと

## ◆梶田浩二委員長

2 期目に当たり、それぞれ委員が 21 事業を担当各課からの資料を基に現地視察とヒアリングを行い精査した結果、A 評価 20 事業、B 評価 1 事業という判定に至りました。総評にも書きましたが、私たち市民が自治体と共同で行う事業も多数あることから互いに共通の認識を持って事業を行い、持続可能な共生社会を目指し、相馬市のためにがんばっていただけるように双方が努力しなければならないものと思います。そして、この 2 年間外部評価委員会に数多くの詳細な資料を提供していただいた各課担当の皆さんに深く感謝申し上げます。

## ◆伊東千恵子委員

今期も 21 の事業を評価し、良い結果を得ることができました。コロナ対策で多忙の中での担当者の資料提供と努力に感謝します。人口減少が進み、財政が困難と思われませんが、資源豊かな相馬の特徴を活かす施策を考え、高齢者も若者も全ての市民が「相馬に住んで良かった」と思う事業を展開してください。

## ◆小畑強子委員

東日本大震災後の子どもたちの心のケア、コロナ禍の環境の変化に伴った DV やネグレクトの多発、地球温暖化による自然環境の変化など不安は尽きないところです。自分のできることを身近なところから（SDGs の考え方で）明日を描いて前に進むしかないと考えております。今年度も市民目線での評価ができたのではないかと考えております。

## ◆高橋良二委員

自然災害やコロナ禍が市民生活に影響を及ぼす環境下ですが、今年も市が取り組む 21 事業について内容を伺い、議論し、評価させていただきました。眼下の問題もさることながら、将来、相馬が元気でいられるための事業に取り組まれていることが確認できました。これらの事業により得られた成果で市民生活が豊かになることを期待しています。

## ◆西村昌也委員

行政は「安心・安全に最低限の生活基準を確保すること」を基に動いていることを先輩委員や担当職員の皆さんに教えていただきながら、評価してまいりました。各課へのヒアリングを通して、今の相馬がどういった働きをしているのか感じる事ができ、「連携すること」の重要性、市役所内の複数の課での連携、関係各種団体との連携がこれから持続可能な相馬市をつくるために必要と感じました。自分事として、市民一人一人が行政活動に意識をすることで、相馬市は持続すると思います。私自身は、この 2 年間の評価委員としての経験を糧として、身近なところから地域活性化活動を行いたいと心が動きました。

## ◆高橋勲委員

今年度、外部評価委員会に参加させていただき、市では、市民に寄り添ったさまざまな施策に取り組んでいることを知ることができました。引き続き、市民一人一人に目を向け、安心して暮らせる相馬市、そして子どもたちが、夢や希望を持って成長できる相馬市にしていきたいと思えます。

## ◆荒孝夫委員

今年度の外部評価の結果はおおむね高い評価となりました。これはひとえに職員の常日ごろから業務に真摯<sup>しんし</sup>に取り組んだ結果の表れであると敬意を表したいと思います。外部評価の中で話題になったものが、その後の市行政に反映されて施策に取り入れられ、実行に移された事業が少なからずあったことは委員として嬉しく思うとともに、感謝申し上げます。しかし、ほかの市町村に無い相馬独自の目新しい事業の展開を見ることができなかったことは残念に思うところです。今後は、新しい視点からの事業の推進をすることを願っております。

## ◆高田美奈委員

自主防災組織の訓練、交通事故対策など、身近に起きる可能性がある災害や事故への対策について、課題などへの取り組みを説明していただき、私たち市民に何ができるのか再度、考えさせられました。ほかの事業も含め、私たち市民が相馬市で幸せを感じて生活していけるよう、市民からの情報を活用し、対策を講じ、より一層住み良い相馬市になっていくよう期待しています。